

2026年版 ご案内

ホープ・インターナショナル開発機構

チャリティーディナーのご案内



©HOPE Japan



ホープ・インターナショナル開発機構
HOPE International Development Agency



©HOPE Japan

水からはじまる自立支援

2015年にニューヨークの国連本部で持続可能な開発目標 (SDGs) を含めた2030アジェンダが採択された際、理念として打ち出されたのが No one will be left behind (誰一人取り残さない) でした。

ホープは「支援の届いていない人々の自立への道筋を支援する」を活動理念に、エチオピア・カンボジア・フィリピンで支援の届いていない僻地に住む人々に対し、安全な水の供給からはじまる包括的な支援を実施しています。

なぜ水なのか？

水は誰もが生きていくために不可欠なライフライン。安全な水が手に入ることで、人々の健康状態や子どもたちの就学率が改善し、女性の社会進出も進んでいきます。安全な水の確保は命、教育、経済の問題とも深く関係しているため、最初に水支援を行うことが重要なのです。カンボジアでは浅井戸や深井戸、エチオピアでは重力を利用した簡易水道と、地域の地形に合わせた方法で安全な水を提供しています。



安全な水

(エチオピア・カンボジア)



保健衛生

(エチオピア・カンボジア)



農業支援

(カンボジア)



教育支援

(フィリピン・カンボジア)



アニマルバンク

(カンボジア)

ホープが長年取り組んでいる水問題、保健衛生問題、食糧問題等は国連が2030年までに実現するために策定した「SDGs」の目標として定められており、国際的な社会問題とされています。SDGsを通し世界の貧困問題に終止符を打つべく、ホープをはじめ多くの団体が活動しています。





[ホープの活動地] エチオピア連邦民主共和国の今

成長著しいエチオピア、一方で拡大する貧富の格差

アフリカは人類に残された最後の成長大陸といわれています。中でもエチオピア連邦民主共和国は多様な可能性を秘めており、干ばつによる農作物の不足や民族対立に苦しめられながらも、近年著しい経済成長で注目を集めています。しかし、首都アディスアベバと農村部での人々の暮らしには大きな格差があります。ホープが事業を行う農村では、電気・ガス・水道等のインフラが一切整備されていない地域も多く、現金収入を得られる仕事も限られており、住民は「貧困のサイクル」に取り込まれてしまっている現状があります。

ホープ事務局長が見た現地の「厳しい実情」

ホープの事務局長ベア ジェフリーがエチオピアの事業地で見たのは、事業の成果だけでなく、取り残されている人々の厳しい実情でした。

「アルバミンチという都市から車で4時間半、山道をひたすら進んだ先に事業地がありました。ここではホープの簡易水道はまだ建設されておらず、そこに住んでいる人々は遠く離れた隣村の給水所まで行くか、川や泉の水を汲んで生活していました。重たい水のタンクを背負っての行き来は、水汲みをする母親や子どもたちにとって大きな負担になっています。川や泉の水は決して安全な飲み水とは言えず、腹痛や下痢になることも聞きました。彼らは、簡易水道ができるのを心待ちにしています。」

ホープ・インターナショナル開発機構 事務局長 ベア ジェフリー



[エチオピア連邦民主共和国] 女性のエンパワメントと防災・食料安全のための植林事業

事業目的	農村部に給水システムを建設し、安全な水へのアクセスと保健衛生環境を改善する。水汲みから解放された女性に向けた起業支により収入の安定化を図る。また、植林を行い、近年南エチオピア州で頻発する地滑りなどの自然災害のリスクを軽減する。		
事業地域	エチオピア / 南エチオピア州		
事業内容	安全な水へのアクセスと保健衛生の改善	女性のエンパワメント	植林事業
	<ul style="list-style-type: none"> ・動力を必要としない重力式給水システムの建設 ・水道の維持管理、保健衛生の啓発人材育成 ・戸別訪問でのフォローアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自助グループ (SHG) を組織 ・貯蓄方法などの研修を実施 ・小規模ビジネスの起業支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民を対象にした環境教育 ・被災した苗床の育成場整備 ・2000本の果樹を植林 ・環境保全委員会を組織し、人材を育成



水を通じて住民の「自立」を促す

ホープの給水事業はただ簡易水道を建設するだけではありません。事業終了後も住民が自分たちで水道を維持管理できるよう、住民主体の管理委員会の設置をサポートしたり、維持管理に必要な知識や技術を伝えていきます。誰かに頼らず、自力でできることをするという意識が定着することで、人々の自立を促します。

[現地の声] ホープの事業で取り戻したのは「人間の尊厳」

ホープがこの村に来るまで、私は家の近くにある泉で水を汲んでいました。乾季には水の量が減るし、雨季には逆に水が濁っていましたが、他に選択肢はなかったので…でも、何よりその水汲み場を動物も使っていたことが嫌でした。動物と同じ水を飲むのはいい気持ちがしません。でもホープのおかげで給水所ができて、今では気持ちよく水汲みができています。」

(カプロカウツォさん)



[カンボジア王国] 安全な水の供給と農業支援、学校を建設する教育支援

事業目的	カンボジア西部を中心に、現地住民の安全な水へのアクセスを改善する。並行して安定した農業の実現のための支援、学校建設を組み合わせることで地域の活性化を促す。		
事業地域	カンボジア / ポーサット州		
事業内容	安全な水へのアクセスと保健衛生の改善	農業支援等	学校建設
	<ul style="list-style-type: none"> ・現地の地質に合わせた様式の井戸の建設 ・研修と戸別訪問による保健衛生知識の定着とフォローアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・牛などの家畜の貸し出し支援（アニマルバンク事業） 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して学べる頑丈な校舎の建設 ・児童・生徒の増加に対応した教室や知的好奇心を満たす図書室増築



[フィリピン共和国] 先住民族への高等教育支援事業及び教員人材育成研修

事業目的	差別や貧困により高等教育が受けられず苦しんでいるフィリピンの少数民族を対象に、次世代を担う若者が高等教育を受けられるよう支援を行う。
事業地域	フィリピン / ミンダナオ島
事業内容	少数民族の青年を対象とした奨学金支援および教員人材育成研修
	<ul style="list-style-type: none"> ・少数民族への教育に特化した教育機関パムラーンセンターで学ぶ学生への奨学金支援を実施。教員資格の取得や人類学、社会的起業、持続性のある農業技術などを学ぶと同時に、独自の言語や伝統文化への理解と継承を促す。 ・少数民族の子どもたちを指導する教員を対象に研修を実施

少数民族の次世代を育てる

パムラーンセンターはフィリピン・ダバオ市にある少数民族の若者への高等教育を行う教育機関です。ホープは同センターと協力して奨学金支援を実施し、学生たちの学びの機会を支えています。若者たちは、先住民族独自の文化への理解を深め、次世代のリーダーとして地域社会の発展に貢献しています。



2026年 ホープ・チャリティーディナー

チャリティーディナーは、名古屋・関西・東京の各地で毎年開催され、世界の貧困問題の解決に向けた支援金を集め、さらに日本に住む皆様に途上国の貧困の現状を知っていただくことを目的としています。毎年のテーマに基づき、事業地の人々が直面している課題や、その解決に向けてホープが取り組んでいる活動を報告いたします。皆様からのご支援は、現地の人々が自立を果たすための大きな力となり、確実に現地での変化を生み出しています。



2026年 ホープ・チャリティーディナー

参加者の皆様が「楽しみながら」国際協力できるよう、ホープならではのプログラムをご用意しております。

[ディナープログラムの例]

- ・ホープの活動を描いたビデオレポート上映
- ・サイレント&ライブ・オークション
出品される賞品はスポンサー様からご提供いただいております。
- ・エンターテイメント
ライブミュージックやダンスなどの様々なエンターテイメントをお楽しみいただけます。
- ・豪華賞品が当たる抽選会
過去の賞品：カンボジア事業地視察ツアー、ショートフィルム撮影権、イスタンブール往復航空券とヒルトンイスタンブール3泊宿泊券など。
- ・お食事とお飲物
着席でのフルコースディナー・ホープディナーのオリジナルメニューをお楽しみください。



開催地域	開催日	会場
名古屋	2026年3月6日（金）	ヒルトン名古屋
関西	2026年5月15日（金）	ANAクラウンプラザホテル神戸
東京	2026年9月18日（金）	東京アメリカンクラブ

幅広くつながる、助け合いの輪

ホープの特色は企業や個人の方々との幅広いつながりを持ち、特に日本在住の外国人をはじめグローバルな視点を持った支援者が多いことです。チャリティーディナーを通してホープに関わっていただく方も年々増えております。また参加者の皆様にとっても、チャリティーディナーはさまざまな分野の人々と出会う良い機会になるでしょう。



「成果の裏側にあるストーリーをメディアに届ける」PR TIMES STORYでチャリティーディナーを紹介しています。右のQRコードからご覧ください。



2025年のホープ・チャリティーディナー参加者数

2025年は名古屋・神戸・東京の3都市で開催いたしました。

開催地	会場	参加者数	イベント収益
名古屋	ヒルトン名古屋	62名	2,448,940 円
関西	ANAクラウンプラザホテル神戸	99名	4,588,000 円
東京	東京アメリカンクラブ	99名	8,139,000 円

[参加者の声]

- オークションを楽しみにしています! 様々な商品を購入でき、それがホープの活動につながるのうれしいです。
- 上映されるビデオレポートは活動内容がわかりやすく、寄付の使用用途も明確です。
- 現地での活動で、たくさんの命が助かっていると強く思いました。これからも応援したいです。
- 活動報告のディスプレイがわかりやすく、長年支援をしている結果を知れて良かったです。
- エンターテインメントも楽しみの一つです。ピアニストの方の演奏もとても素敵でした。

[スポンサーシップと参加費] 費用と内容

イベントへの参加やスポンサーシップには以下の特典がございます。また参加費の内訳は寄付とスポンサーシップになっており、認定NPO法人であるホープへの寄付は税控除の対象となります。

スポンサーシップ要項と特典

イベント スポンサー	コーポレート スポンサー	テーブル スポンサー	ハーフテーブル スポンサー	小口スポンサー
965,000円	520,000円	315,000円	160,000円	65,000円
会場前列に貴社専用 テーブル(10席)をご用意	ステージ付近に貴社専用 テーブル(10席)をご用意	会場前列に貴社専用 テーブル(10席)をご用意	5席をご用意	2席をご用意
お食事・飲み放題、 シャンパン1本付き	お食事・飲み放題付	お食事・飲み放題付	お食事・飲み放題付	お食事・飲み放題付
専用のサービススタッフを テーブルに配置	貴社ロゴを ステージ上に表示	会場向けの印刷物に 貴社名を表示	会場向けの印刷物に 貴社名を表示	会場向けの印刷物に 貴社名を表示
貴社ロゴを ステージ真上に表示	会場内に展示スペースを ご用意 (詳細は別途相談)	会場内メインスクリーン にて貴社名をご紹介	会場内メインスクリーン にて貴社名をご紹介	
会場内に展示スペースを ご用意 (詳細は別途相談)	会場向けの印刷物に 貴社ロゴを表示	団体ウェブサイト・ 翌年のスポンサー案内 にて貴社名を表示		
会場向けの印刷物最上段に 貴社ロゴを表示	会場内メインスクリーンに て貴社ロゴを紹介			
会場内メインスクリーンに て貴社ロゴを紹介	団体ウェブサイト、 翌年のスポンサー案内にて 貴社ロゴを表示			
団体ウェブサイト、 翌年のスポンサー案内にて 貴社ロゴを表示				

お申し込みフォーム

スポンサーシップおよび個人で
参加ご希望の方は右のQRコード
からお申込みいただけます。



小口スポンサーのお申し込みに関するご注意

小口スポンサーは、2名分のセットチケットとなります。以下の条件をご確認の上、お申し込みください。

- 小口スポンサー代金は、お二人分をまとめて一度にお支払いいただきます。
- 領収書も1つにまとめて発行いたします。個別でのお支払いや領収書の分割は対応いたしかねますので、ご了承ください。

個別チケット (お食事・飲み放題付) は一枚 33,000円でご購入いただけます。

※ 印刷物・スクリーン等への表示はありませんのでご了承ください。

賞品スポンサーの内容

チャリティーディナーで行われるオークションや抽選会に出品される賞品は、スポンサー様からご提供いただいております。オークション等を楽しみに来場される方も多く、商品を広報する良い機会になります。なお、落札額は全てホープが実施する自立支援事業に充てられます。

過去賞品例：ホテル宿泊券、キッチン用品、ワイン、地ビール、アクセサリ、美容用品、お食事券など

※ 賞品スポンサーの詳細は別紙をご確認ください。



過去のイベント・コーポレート・テーブル スポンサー (順不同)

ジャガー・ランドローバー 西宮・神戸中央・明石、株式会社 オークローンマーケティング (ショップジャパン)、株式会社 インターワールド、日本イーライリリー株式会社、ヴォーパル・テクノロジーズ株式会社、ヘカバイオ株式会社、NTTコミュニケーションズ株式会社、新日本ウエックス株式会社、ファイナンシャル・ジャパン株式会社、シーザースインターナショナル株式会社、H&R Group、Hilton Nagoya、Nameless株式会社、東海日本カナダ協会、サロン・ド 花、新神戸クラブ、株式会社トリプルエイト、Venus Rose Association、株式会社アビリティーズ、株式会社キョウサン、UCC上島珈琲株式会社、ANAクラウンプラザホテル神戸、コンラッド東京、エンワールド・ジャパン株式会社、モリソン・フォスター外国法事務弁護士事務所、黎明グローバル・アドバイザーズ、レネジェン株式会社、SCSK Corporation、株式会社PATHWAYS、フュージョン・システムズ・ジャパン株式会社、国際ソロブチミスト岡崎、三重テレビ放送株式会社、Cross Cultural Exchange Association、NSR GROUP、FEW Kansai、株式会社アーバンプロジェクト、GDI Communications、アクセンチュア株式会社、豊島株式会社、AKI JAPAN CO. LTD、ヒルトン大阪、I・S・S (ISHIDA Co. LTD)、ティー・マーク株式会社、大江戸温泉物語株式会社、Jim Weisser、PAL株式会社、株式会社SCSKサービスウェア、Emerge、株式会社Mi-raie、ファイナンシャル・ジャパン株式会社、株式会社ブラウDESTグループホールディングス、Paul Dupuis、田中みどり

2021~2025年 賞品スポンサー (順不同)

(株) オークローンマーケティング、ANAクラウンプラザホテル神戸、ANAクラウンプラザホテル沖縄うるま、ANAクラウンプラザホテル釧路、ANAクラウンプラザホテル千歳、ANAクラウンプラザホテル新潟、ANAクラウンプラザホテル富山、ANAクラウンプラザホテル金沢、ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋、ANAクラウンプラザホテル米子、ANAクラウンプラザホテル松山、ANAクラウンプラザホテル岡山、ANAクラウンプラザホテル広島、ANAクラウンプラザホテル宇部、ANAクラウンプラザホテル福岡、ANAクラウンプラザホテル長崎グラバー ヒル、ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ、ANAホリデイ・イン京都五条、ANAホリデイ・イン札幌すすきの、ANAホリデイ・イン仙台、ANAホリデイ・イン金沢スカイ、ANAホリデイ・インリゾート宮崎、ANAインターコンチネンタル万座ビーチリゾート、ANAインターコンチネンタル石垣リゾート、エラナジェード、オーガニックファーム 里山、絢爛亭、きんぼうげ、ゴディバジャパン株式会社、ショップジャパン、ストリングスホテル東京インターコンチネンタル、ダルビッシュ ギャラリー、外池酒造店、とみさん工房、ホテルインディゴ犬山有楽苑、ホテルインターコンチネンタル東京ベイ、ホリデイ・イン 京都五条、ポジティブストレッチ、マキノ、丸政商事、虎友、ムネベイント、ミセス・ヒロコ、もえぎ、レ・レスベラトロール、日野菊商店、栃木県益子町観光協会、梶岡 亨、金虎酒造株式会社、京都十二単舞踊、黒毛和牛へ肉専門店 炭火焼肉きちちゃん、書道家：芳生~housyo、株式会社フリースタイル、株式会社ミトオリ インターナショナル、株式会社内外治療院附属メディカルリンパ Dans Tes Bras、株式会社もえぎ、株式会社マキノ、株式会社日野菊商店、玉本 奈々、中嶋 将晴、名古屋グランパス、山口楼、横田 満康、沖縄 焼肉ホルモン萬たく、第一スタジオ、采色塗なか門、藤井酒造株式会社、芳生~housyo、AKI Japan、Andrew Dunbar、Back2Brooklyn、Balinese bag、CANELÉ ET CRÉME GLACÉE、Ca Cucina che incantò、Charissa Kane、Citadines Harbour Front Yokohama、Citadines Namba Osaka、Conrad Osaka、Conrad Hong Kong、Conrad Centennial Singapore、Debbie Sakura、EPICCHARIS、FLOS JAPAN、Francis Ford Coppola Winery、Hello Beauty、Hyappa Brews Japan、Iconic Wine Japan, Inc.、Jaume Labro、Japan Wine Challenge、J.L. Bonnier、Jadwiga Sakakibara、Jirex Co.、Jun Nakao、Kikuko Hoshino、Keiho Sakakibara、Kush Mirchandani、Le Creuset、Lenka Vecerova、lyf Fukuoka Tenjin、Matt Pride、Meiji no Yakata、MIDTOWN BBQ、Munisha Mirchandani、Neelam Daswani、Newport Ltd.、Nihonbashi Yukari、Oakwood Hotel Oike Kyoto、Origami K.K.、Pacific Solo、peep zoom、Persian Abrisham、Pixie Creations、Salan Salan、Shanu Agarwal Japan、Tadahiko Okazaki、Todd McKay Fine Diamonds and Gemstones、Tokyo American Club、Tobin Ohashi Gallery、Tom Kriegshauser、Toyo Beverage、Troy's American BBQ、Wadhvani、Watanabe Sahei Shoten、Won Ginseng Farm、Yamaguchiro、Yoh Nagao

当団体の活動に
ご理解・ご協力くださいますよう
お願い申し上げます。



ホープ・インターナショナル開発機構
HOPE International Development Agency

｜チャリティーディナーのご案内 2026年版｜

認定NPO法人 **ホープ・インターナショナル開発機構**
HOPE International Development Agency Japan

〒461-0002
名古屋市東区代官町39-18 日本陶磁器センタービル 5F
中部リサイクル運動市民の会内

TEL: 052-204-0530 / FAX: 052-204-0531 / Eメール: dinners@hope.or.jp



ディナーの詳細はウェブ
からもご覧いただけます